

Practical Calgel Certificate (プラクティカル・カルジェル・サーティフィケート)

【試験構成】 Junior/Second/First

【受験資格】 Junior: カルジェルコース修了者
 Second: Junior合格者
 First: Second合格者
 ※ステップアップ方式／飛び級無し

【受験料】 各級¥5,000(税抜)

筆記試験

選択式
 ※参考テキスト: カルジェルトレーニングマニュアル、カルジェルサロンワーク対策マニュアル

実技試験

【内容】
 ドライケアにて施術(ウェットケアは、前日までに済ませておく)
 Junior ドライケア、ラメグラデーション10本
 Second ドライケア、カラーグラデーション10本、カラーグラデーション上にフラットアート花1本、ピーコック1本
 First ドライケア、ラメライン入りフレンチ10本、土台にスカルプ1本とチップ1本を含む
 ※参考テキスト: カルジェルトレーニングマニュアル、カルジェルサロン対策マニュアル

【合格基準】 ・エクステンションの仕上がりは、ネイルベッドの1/3程度
 ・地爪の仕上がりは、フリーエッジが2mm以上、ネイルベッドの1/3以下を目安とする
 ・カットスタイルは、左右対称のポインテッド以外
 ・Firstのエクステンションは小指以外の爪で行うこと
 ・Secondのフラットアートは小指以外の爪で行うこと
 ・エクステンションを行う爪のフリーエッジは1mm弱にカットする
 ・長さ、形、ジェル塗りが10本バランスよく揃っていること(エクステンションは除く)
 ・試験要項に記載された技術全てが手順どおり衛生的に行われ、時間内に終了していること
 ・カルジェルの特長を活かした技術が行われている

試験に関する失格事項および注意・減点 (Junior/Second/First共通)

【失格対象】
 ・開始時間までに入室していない場合、または途中退場した場合
 ・不正行為があった場合
 ・私語などが多く他の受験者に迷惑が及ぶ場合、試験官の指示に従わなかった場合

実技試験のみ

1. モデルを同伴していない場合
2. 実技試験開始時刻までに器材セッティングが完了していない場合
3. 必要器材が揃っていない場合 (他メーカーのジェル、指定以外のカラーやラメ)
4. 実技試験中にモデルを出血させてしまった場合
5. 時間内に実技科目を終了できなかった場合
6. 試験終了後にモデルの爪に作業をした場合
7. モデルが地爪ではない場合
 亀裂などがある場合、レジン、シルクラップを使用したリペアのみ可とする (リペアは3本まで)
 アクリルやジェルでのリペアは不可
 グルーでのリペアが不適切だとみなされた場合も不可 (Junior/Secondのカルジェルスカルプは不可)
8. モデルの手指および爪に疾患 (カビ爪など)、剥離、極端な深爪は不可

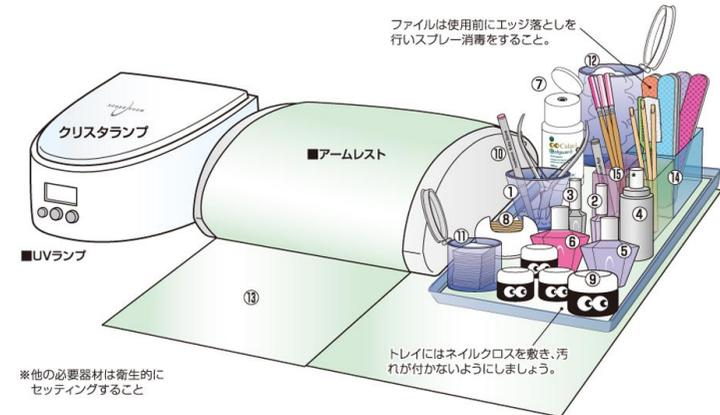
【注意事項】 1. 髪形: 髪は前に垂れないようにしっかりとめること
 2. 服装: 露出を避け清潔感があり技術がしやすい服装が好ましい。エプロンを着用すること
 ※受験者、モデル共に指輪やプレスレット等のアクセサリーは外し、肘から指先に何も装着しないこと (腕時計は受験票の上に置く)
 3. 携帯電話: 試験中は受験者、モデル共に携帯電話の電源を切っておくこと
 4. 受験票: 必ず持参のこと
 5. 手順確認: マニュアルを見ながらの施術は不可
 6. モデルは16歳以上であること

テーブルセッティングに関する注意

1. セッティング: 入場後は速やかにデスクセッティングし、器材消毒、UVランプの動作点検を行うこと
2. テーブルの上にはネイルクロスを敷き、ゴミ袋をセッティングすること
3. 器材／材料は1つのトレイにのせ、テーブルに直接触れないようにセッティングすること

テーブルセッティング例

- | | | | |
|--------------------------------------|----------------------|-----------------------|-------------------------|
| ① ウェットスリライザー
コットンにエタノールを充分に含ませます。 | ⑤ カルリムープ
⑥ カルクレンス | ⑧ ルビーストーン
(他・ニッパー) | ⑩ ファイル立て
・ファイル・バッファー |
| ② カルクリスタル トップコート | ⑦ カルガード | ⑪ ウィフ | ・ダストブラシ・ウッドスティック |
| ③ ハイグロス トップコート | ⑧ スティック | ⑫ コットン | ⑬ 離立て |
| ④ エタノールスプレー | ⑨ ジェル | ⑭ ネイルクロス | ・ジェル壺 |



器材／材料に関する減点・注意事項

1. メタルプッシャー、マシンは使用不可
2. 基本的な器材はMOGA・BROOK製品を使用すること
3. 衛生的な状態で汚れていない道具を使用すること
4. 筆はダストのかからない場所に置き使用すること
5. ジェルは指定のカラーを使用すること。詰め替えた場合は容器にカラー番号を表記すること
6. チップはナチュラルチップを10サイズ揃えること。ハーフェル、クリア、ホワイト、カラーチップは不可
7. チップは、ポジションストップ、ウェルラインがないチップは不可。事前カスタマイズ不可
8. トップコートはカルクリスタル又はハイグロスを使用すること
9. キューティクルオイル使用不可
10. 消毒用エタノールはスプレーボトルに入れておくこと
11. ファイルは80グリット又は120グリット、180グリット、240グリット、エメリーボードを使用
12. バッファーは180グリット、240グリットを使用
13. ファイル、バッファーは全てグリット数が印字されていること (手書き不可、エメリーボードは印刷無しでも可)
14. スカルプチュアフォームは事前カスタマイズ不可
15. ルビーストーンの先端はキューティクルケアに適した状態にしておくこと
16. レジンはカルボンドレジンを使用すること。他メーカー製品は使用不可
17. ネイルクロスは予備に数枚準備すること
18. コットンは蓋付きの容器に入れておくこと
19. クリスタランプ又はタイマー付きの36WのUVランプを使用 (1台のみ)
20. 延長コードを持参すること
21. 器材は全て持参すること。(当日貸出し無し)
22. ゴミ袋を持参すること。

Junior実技試験要項 90分

お手入れ

- ①技術者、モデルの手指を消毒する(コットンを使用)
- ②ルビーストーンでルースキューティクルを除去する
- ③240Gファイルでキューティクル際、サイドをチェック
- ④シェイピングを行う(ポイントド以外の形で左右対称に整える。エメリーボード、240G又は180Gを使用)
- ⑤240Gバッファーでバッフィン(縦方向に行う)
- ⑥ダストオフ→爪表面をカルガードで拭く

ジェル塗り

- ①ネイルクロスを交換し、ジェル塗りに入る
- ②地爪にクリアジェルコート→硬化
- ③ラメグラデーションを行う→硬化
(※ラメはダイヤモンドリングを使用すること、ラメはクリアジェルに混ぜて使用)
- ④トップにクリアジェルコート→硬化
- ⑤カルガードで未硬化ジェルを拭き取る
- ※定着時間を守る

使用色: クリアジェル、ダイヤモンドリング

仕上げ

- カルクリスタル又はハイグロスを塗る
※ジェル塗り後のファイリングは不可



Second実技試験要項 90分

お手入れ

- ①技術者、モデルの手指を消毒する(コットンを使用)
- ②ルビーストーンでルースキューティクルを除去する
- ③240Gファイルでキューティクル際、サイドをチェック
- ④シェイピングを行う(ポイントド以外の形で左右対称に整える。エメリーボード、240G又は180Gを使用)
- ⑤240Gバッファーでバッフィン(縦方向に行う)
- ⑥ダストオフ→爪表面をカルガードで拭く

ジェル塗り

- ①ネイルクロスを交換し、ジェル塗りに入る
- ②地爪にクリアジェルコート→硬化
- ③ベースのカラージェル(CG43)を塗る→硬化
- ④グラデーションを行う(CGPI03S)→硬化
- ※中間色使用、原色使用どちらでも可
- ⑤基本形でクリアジェルを塗りフラットアートをする(花、ピーコック各1本)→硬化
- ※フラットアートは小指以外の爪で行うこと
- ⑥トップにクリアジェルコート→硬化
- ⑦カルガードで未硬化ジェルを拭き取る
- ※定着時間を守る

使用色: クリアジェル、CG43、CGPI03S フラットアート使用カラーは3色まで
※アートにラメ、ラインストーン、アート用シールは使用不可。 カラージェルのみで仕上げる

仕上げ

- カルクリスタル又は、ハイグロスを塗る
※ジェル塗り後のファイリングは不可

—アート作品例—



First実技試験要項 120分

お手入れ

- ①技術者、モデルの手指を消毒する(コットンを使用)
- ②ルビーストーンでルースキューティクルを除去する
- ③240Gファイルでキューティクル際、サイドをチェック
- ④シェイピングを行う(ポイントド以外の形で左右対称に整える。エメリーボード、240G又は180Gを使用)
- ※エクステンションを行う爪はフリーエッジを1mm以下に整える
- ⑤240Gバッファーでバッフィン(縦方向に行う)
- ⑥ダストオフ→爪表面をカルガードで拭く

エクステンション土台作成

- ①ネイルクロスを交換し、スカルプチュアフォームを装着し、クリアジェルで段差埋めを行う→硬化
- ②チップ装着前のジェルとスカルプチュアの基本形を同時進行→硬化
- ③チップのカスタマイズを行い接着する
- ④シェイピングを行う(ポイントド以外の形で左右対称に整える。エメリーボード、240G又は180Gを使用)
- ※使用ファイル: 80G又は120G→チップ、スカルプチュアのシェイピングとチップのブレンディング
240G→チップのブレンディング、スカルプチュア表面のファイリング
180G→チップ、スカルプチュアの部分的なファイリングのみに使用し多用は不可
- ⑤チップ、スカルプチュアのバッフィン
- ※使用バッファー: 180G、240Gのバッファーでバッフィン
- ⑥ダストオフ→カルガードで拭く
- ※手順はカルジェルトレーニングマニュアルを参照

ジェル塗り

- ①ネイルクロスを交換し、ジェル塗りに入る
- ②クリアジェルコート→硬化
- ③ベースのカラージェル(CG43)を塗る→スマイルラインを拭き取り、CGCWでフレンチに仕上げる→硬化
- ※フレンチ1層目はマニュアルに記載する拭き取り形式で行い定着すること、その後のホワイトの重ね塗り可
- ④ラメライン(ダイヤモンドリングを使用)を入れる→硬化
- ⑤トップにクリアジェルコート→硬化
- ⑥カルガードで未硬化ジェルを拭き取る
- ※定着時間を守る

使用色: クリアジェル、CG43、CGCW、ダイヤモンドリング

仕上げ

- カルクリスタル又はハイグロスを塗る
※ジェル塗り後のファイリングは不可

